

効果の見える治水事業

まさき 正木ダム堰堤改良事業

徳島県土整備部 東部県土整備局長 こんどう ふみあき
近藤 文彰



正木ダムの概要

勝浦川は、雲早山・高丸山を源流とし、上勝町・勝浦町・小松島市・徳島市を流れて紀伊水道に注ぐ全長 49.6km、流域面積 224km² の二級河川です。清流として知られる上流域では、鮎やアメゴなどの渓流釣りが楽しめます。ダム完成前は台風等による大きな水害を沿川住民に与えており、中下流域においてはしばしば干ばつに悩まされていました。これらを解決する施策として、昭和 4 8 年にダム本体の建設工事に取っかかり、昭和 5 2 年に完成しました。

- ①目的 洪水調節、河川環境保全、かんがい・工業用水、発電
- ②経過 昭和48年着工、同52年竣工
- ③位置 徳島県勝浦郡上勝町正木
- ④河川名 二級河川勝浦川水系勝浦川
- ⑤諸元 重力式コンクリートダム、
堤高:67.0m、堤体積:248,800m³
総貯水容量:15,050 千m³



正木ダム

事業の必要性・効果

正木ダムは勝浦川の洪水被害を軽減し、中下流域への農業用水の補給並びに発電用水を確保している重要な施設です。放流操作時に必要な情報処理装置や放流警報設備について毎年保守点検等を実施していますが、前回更新から長期間経過しており故障箇所が目立ち始め、交換部品の確保が困難になってきています。このため堰堤改良事業により各施設の改良及び更新を行い、管理の適正化及び効率化を図っております。

事業概要

- 事業費 9 1 5 百万円
- 事業期間 平成 20 年度～平成 25 年度
- 内容 ダム情報処理設備改良
放流警報設備改良
ゲート放流設備改良
管理棟耐震化 etc



ダム情報処理装置 (ダムコン)



放流警報設備 (テレメータ)

「住民の目線に立ったまちづくり」に向けて

徳島県上勝町長

はなもと やすし
花本 靖



本町は、徳島県庁から南西方向に約 40km (車で約 50 分) のところにあります。四国山脈の南東山地にあり、標高 1,439m の高丸山を最高峰とする山脈が重なり、東流する二級河川勝浦川は深い渓谷をなし、その流域にごくわずかな平地が見られるほかは大部分が山地で、山腹斜面に棚田を形成し、標高 100m～700m のところに大小 55 の集落が点在しています。総面積は、109.68km² でその内 89% が山林であり、その中に人工林が 83% を占めています。

重要文化的景観及び日本の棚田百選に選ばれた「檜原の棚田」や、にほんの里百選に選ばれた「八重地地区」、かおり風景百選に選ばれた「上勝晩茶」など、自然が豊かで「日本で最も美しい村」連合に加盟する美しい町です。

観光資源として、殿川内渓谷の紅葉や、剣山スーパー林道起点 (全長 87.7km) や灌頂ヶ滝 (落差 80m)、穴禅定のお寺・慈眼寺 (四国八十八ヶ所、第二十番札所鶴林寺の奥の院、四国別格霊場第三札所)、高丸山のブナ原生林、月ヶ谷温泉や、月ヶ谷温泉村キャンプ場、正木ダムなどが有名です。



「日本で最も美しい村」
連合ロゴ

徳島県においても高齢化が進んでいまして、なかでも本町の高齢化率は約 49% で、人口も 2,000 人を切り、急速な少子高齢化や近年の社会情勢の変化等により様々な影響が出てきていますが、先人が築いてきた町をいかに継続させていくか、また、集落の活性化がどこまで図られるかが大きな課題となってきています。

とりわけ、全国の過疎地域でも大きな反響をいただきました、映画「人生・いろどり」、この映画を生かして地域に観光客を呼び込もうと、ロケ地マップ、ロケに使われた古民家を改修した飲食店、農家民宿や、シェア喫茶店が登場するなど、たくさんの方々に応援していただいていることから、町には元気が見え始めています。しかしながら、過疎を背景とした集落住民が抱えている問題等は複雑でありますが、それぞれの観点から正面から向き合い、住民の目線に立った持続可能な町づくりをめざして参りたいと考えております。



映画「人生、いろどり」ポスター
(©2012「人生、いろどり」制作委員会)



特産品の上勝晩茶